



# あたりまえを疑う 批判的に考察する

---

藤田 智子 講師

## ■ 自己紹介

---

私の専門は家族社会学です。特に「家族とはどうあるべきとされてきたのか」ということについて、オーストラリアをフィールドに考えています。家族はわれわれにとって「身近」で「あたりまえ」の存在のように思われますが、実はとても多様で、社会や階層・階級、時代によって変化してきました。にもかかわらず、家族には「こうあるべき」という規範があります。そして、その規範から外れてしまうと、社会的支援を受けられないなど、さまざまな不利益を被ります。私は特にオーストラリアの社会政策を分析することで、このような問題に取り組んできました。

家族やジェンダーについて研究することは、普段われわれが「あたりまえ」だと思っていること、あるいはあたりまえ過ぎて意識さえしていないことに気が付き、批判的に考察することの重要性を教えてください。同時に、私たちの身近な出来事にはどのような社会的・歴史的・政治的背景があるのか、より幅広い文脈のなかでそれらの出来事を捉えることの重要性も教えてください。担当している「専門領域研究講座」などでは、そのようなモノの見方を学生さんが身に付けられるような授業を目指しています。